

●新型コロナと岩国基地

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、全国で休校措置がとられた。岩国市は5月7日より小中学校を再開した。米軍岩国基地では所属する軍人や基地で働く日本人従業員などに対し、6月14日まで子どもたちを基地の外の学校に登校させないよう求める通知を出した。この通知により100名程度の子どものみが学校を休んだとみられている。「登校自粛要請」は6月8日に解除された。これは教育を受ける権利、より具体的には子どもが学校に通う権利を米軍の都合で制限したということだ。

米海軍は空母ロナルド・レーガンを無事出航させることを最重視した。岩国基地では、艦載機部隊の関係者への感染を何としてでも防ぐことが至上命題となったのであろう。海軍は例年のスケジュールを変更した。空母艦載機部隊はFCLP（陸上空母離発着訓練）、CQ（空母着艦資格取得訓練）を硫黄島と海上において実施し、岩国に戻ることなく、海上での任務に移行した。そのため、今年はFCLP期間中の岩国基地周辺の騒音は減少したと報じられている。

7月、米軍岩国基地関係者の感染が初めて報告された。米軍人家族4名が、入国時の検査結果も待たず、公共交通機関を使わないという約束を破って、羽田から岩国新幹線空港まで民間機で移動した。岩国到着後に3名に陽性が確認されたという事件だ。7月以降はアメリカから岩国基地にチャーター機で到着した基地関係者の感染が確認される事態が続いたが、現在、岩国基地内での感染が確認されている状態である。11月6日、空母艦載機部隊が岩国に帰還した。11月19日、米軍岩国基地は、11月20日から同30日までをメドに、再度の登校自粛要請を出した。アメリカ軍岩国基地は「われわれは日米同盟のもと、定められた責務を果たすため、新型コロナウイルスのリスクを最小限にとどめる対策を講じなければいけない」としている。やはり、子ども達の権利よりも米軍の都合が優先されるということだ。

●住民を危険にさらす米軍の腐敗

2018年12月6日、米軍岩国基地（岩国市）海兵隊のFA18 ホーネット戦闘攻撃機とKC130 空中給油機が高知県沖で接触、墜落して6名が亡くなった。この事故についての報告書が昨年9月に出された。その中で、岩国基地所属のパイロット達が操縦しながら鋭を刺るなどの危険飛行を繰り返していたことが明らかとなった。今年7月2日、米海兵隊は新たな調査結果を公表した。同事故についてFA18のパイロットが照明でKC130を見失ったとし、「一連の状況ではどんなパイロットでも回避は非常に困難」と結論付けている。再調査では、より直接的な事故状況を明らかにしたということであろう。一方で、再調査報告書では、米国内で基礎訓練を終えて、各基地に配属されたFA18パイロットの標準スコアの平均点を比較すると、米本国に配属されたパイロットに比べて岩国基地に配属されたパイロットの平均点が明らかに低かったことにも触れている。意図的ではないとしながらも、偏った配置がなされてきたことを認めた。岩国市民や、飛行ルート下に住む住民は怒りと不安の声を上げている。

10月3日、岩国基地所属の米海兵隊員が広島市内の民家に侵入し、金を出せと住民を脅したという事件が発生した。この事件について、広島地検は16日、不起訴処分とした。

●岩国基地の基地機能強化が映し出す日米軍事同盟再編

5月8日、陸上自衛隊が導入するオスプレイ17機の内、2機が岩国基地に陸揚げされた。整備や試験飛行を岩国基地で行ったうえで7月10日、16日に木更津駐屯地に移動した。岩国基地は沖合移設工事に伴い、埠頭と港湾施設が整備された。港湾施設と飛行場機能とがある米軍基地として、搬入に都合が良いということだ。

岩国基地には現在、16機のF35Bが配備されている。FA18戦闘攻撃機12機と交代でF35B戦闘機16機がさらに加わる。岩国基地に配備されるF35Bは32機となる。F35Bは海兵隊仕様の短距離離陸垂直着陸（STOVL）機である。強襲揚陸艦への搭載を前提に設計された機体だ。佐世保に配備されている強襲揚陸艦「アメリカ」や、改修後の海上自衛隊「いずも」型護衛艦（現在「いずも」「かが」の2隻）への離着艦が可能だ。今後、陸上での短距離離陸、垂直着陸訓練の実施が増大し、通常の離発着に比べて地上での騒音が増大することが想定される。防衛省は艦載機が岩国基地に移駐したことを口実に、鹿児島県西之表市の馬毛島にFCLPの訓練基地を建設しようとしている。岩国基地の強化は全国の基地再編強化に繋がっている。

●防衛省への依存を強める岩国市政。対する岩国市民、周辺住民の闘い

9月1日、岩国市立の小中一貫校として、東小中学校が開校した。開校式には来賓として中四国防衛局の局長が招かれた。校舎の建設費の一部に防衛省からの交付金が当てられている。9月、菅政権発足に伴い、岸信夫が防衛相に就任した。安倍元首相の実弟であり、岩国市を含む山口第2区が基盤の議員だ。早速、米軍再編交付金の延長に動いている。2018年9月、橋田市長は宜野湾市長選で松川候補（当時）の応援演説を行うた

め公費出張した。岩国市民は現在、福田市長を相手に公費返還請求裁判を闘っている。

●岩国基地との闘いを日米安保体制との闘いに押し進めよう

コロナ感染拡大の影響を受け、「愛宕山を見守る集い」は、4月11日の集いの後、4回休止し、6月1日より再開。この間も岩国市民、周辺住民は米軍基地による登校規制への抗議の申し入れや、オスプレイ木更津暫定配備反対行動を取り組んだ。「愛宕山を見守る集い」は、8月21日に10周年を迎え、9月1日に記念集会を開催した。岩国では、住民が基地と行政を監視し、申し入れ行動や裁判闘争を行っている。さらに、継続的な集会を開催し、情報交換を行い、闘いを全国に発信し、選挙も闘うといった全方向の闘いが取り組まれている。岩国住民の闘いを支援しよう。山口県では本年、イージス・アショア配備計画の撤回を、地元住民を中心とした闘いで勝ち取った。この闘いは、全県、全国からの支援・共闘によって闘われた。全国の反戦・反基地の闘いを日米安保との闘いに押し進めていこう。

2020 岩国闘連年表

19年11月7日 山口県の村岡知事、防衛省に山本順広副大臣を訪ね、米海兵隊岩国基地の戦闘機部隊で規則違反が横行していた問題で、詳細を地元自治体に伝えていなかったことに対し、口頭で再発防止を求めた。山本副大臣は「反省している」と陳謝。

11月15日 岩国市議会臨時会で米軍の綱紀粛正と国からの適切な情報提供を求める意見書案を全会一致で可決。

11月19日 広島県は、国が4～9月に県内6地点で測定した米軍機とみられる騒音の発生回数をまとめた。「騒がしい街頭」に相当する70デシベル以上は3080回で、2018年の同時期と比べて16.8%増加。米軍岩国基地（岩国市）への空母艦載機移転が完了する前の17年同時期比では倍増した。

20年1月26日 岩国市長選投票開票。福田良彦氏（49）＝自民、公明推薦＝33,287票、米重政彦氏（63）＝共産、社民推薦＝10,488票。投票率39.63%。

4月6日 岩国市「基地と岩国」5年ぶり発行

4月21日 愛宕山見守りの集い、コロナ感染対策のため中止。

5月7日 岩国市の小中学校学校登校再開

5月8日 陸上自衛隊木更津駐屯地（千葉県木更津市）に配備する輸送機オスプレイ2機が米軍岩国基地に到着。米本土から輸送された自衛隊機の離場は今回が初めて。基地周辺ではオスプレイの搬入に反対する住民たちが抗議の声を上げた。

5月14日 硫黄島でのFCLP始まる。

6月1日 愛宕山を見守る集い再開。

6月8日 岩国基地、関係者家族の登校制限終了。

6月11日 米軍岩国基地配備の空母艦載機部隊、CQ終了。岩国に帰還せず空母での任務に就く。

7月15日 米軍岩国基地で新型コロナウイルスの感染を初確認。

8月21日 愛宕山見守りの集いが10周年を迎えた。

8月26日 防衛省が岩国市に対し、米軍岩国基地にF35B追加配備について説明。

8月28日 安倍首相退陣表明。

9月1日 岩国市立の小中一貫校、東小中学校で開校式に来賓として中四国防衛局局長が出席。工費の一部に再編交付金等が当てられた。

9月1日 愛宕山を見守る集い、10周年記念集会開催。

9月9日 岩国市長沖繩公費選挙応援公費返還請求裁判の公判（山口地裁）

9月16日 安倍首相退陣。菅内閣発足。岸信夫衆議院議員が防衛大臣に就任。

9月24日 岩国市全員協議会開催。防衛省の担当者からF35B追加配備計画内容を開き取る。

9月25日 福田岩国市長、F35B追加配備を容認。

9月29日 村岡山口県知事、F35B追加配備を容認。

9月29日（現地時間） 米海兵隊のF35Bステルス戦闘機、米国カリフォルニアにて空中給油訓練中に墜落。

10月3日 岩国基地所属の米海兵隊員が広島市内の民家にガラスを割って侵入。15日不起訴処分となる。

10月6日 F35Bの米カリフォルニア州での墜落事故を巡り、福田市長は「安全性に疑念が生じるものではない」としてF35B追加計画の容認姿勢維持を表明。

10月31日 岸信夫防衛相、岩国市にて防衛大臣就任報告会。再編交付金の継続について言及。

11月6日 米軍岩国基地配備の空母艦載機部隊約50機が帰還。10日、艦載機による飛行訓練再開。

11月14日 岩国基地関係での新型コロナウイルス感染者延べ28人となる。11月に入り、岩国市内でも新型コロナウイルス感染者が連日確認される。

11月19日 新型コロナウイルス感染拡大を理由に米軍岩国基地が登校自粛要請。11月20日から30日まで。

11月19日 岩国市、米軍住宅アタゴヒルズ内で外来種の毒グモが初めて発見されたと発表。10月27日クロゴケグモの雌の成体1匹、11月4日ハイロゴケグモの幼体1匹。

11月23日 新たに岩国基地関係者7人が新型コロナウイルスに感染していることが確認された。岩国基地関係での新型コロナウイルス感染者は延べ42名となる。